

# 高3生，TOEIC 事始め

樟蔭高等学校非常勤講師 金村敦雄

## 1. はじめに

高校生に TOEIC，と聞くとこれまでの文部科学省下における学習の取り組みや又その試験内容にも通常の学習内容からは乖離しているのではと感じ，高校の英語教員であればごく普通に，それ故正式に授業の中で取り扱うことは殆ど考えられてこなかったし，又考えていないのではないだろうか。30年以上に亘り英語教育に携わり，私自身もまず高校で取り組む予定はなかった。

毎年，高校3年生の授業担当が多く私から敢えて TOEIC を知っているかを問うことはこれまで1度もなかった。生徒は大学受験を前に，あるいは既に志望大学への入学を許可された生徒たちの中から TOEIC の点数のことなどを小耳に挟むことが多少なりとあり，数人の生徒に聞くと大学入学後にある程度の得点を取ることが要求されてるようだった。

学校側に TOEIC 特別講習について3年生を対象に実施してみたい趣旨をお話し，何人集まるかは全く分からない状態で，案内を作り希望者を募ると41名の生徒が登録をした。その数字が多いか少ないかは別とし，関心を示している生徒が少なからずいたことには違いないと思っている。

この稿では，5日間10時間の講習内容，リスニングとリーディングを中心とした TOEIC と他の英語試験（英検，GTEC，学入試センター）との比較をし，その中で扱われている語彙，特に高校の教科書で扱われているものを中心に TOEIC で扱われる語彙との違い，又その内容分析を中心に論じ，最後に講習を通して感じたこと，生徒のアンケートなどを基に，今後の高等学校における英語教育に役立てることが出来ればと考えている。

## 2. 講習内容

50分を1時間とし1日2時間の講習を5日間行った。最初の1時間目は TOEIC とは何か。どんな試験なのか。英検との違いや大学で単位認定として使われていること，企業がどのように利用しているか，受験者数，平均点，

大学センター試験や高校で学習する語彙を中心に TOEIC で使用される語彙との違いなどをネット等で発表されているデータをもとに話をし、講習後にどのように学習を継続し、特にリスニングとリーディングを中心とした学習方法に至るまで少ない時間相当な情報を伝えた。2時間目以降は各パート写真描写問題から始まりパート7の読解問題まで1時間づつ4日目の2時間目までを教材「新 TOEIC テスト書き込みドリル (全パート入門編)」桐原書店を使用し授業を行った。5日目最終日は、TOEIC 実践問題「30分模試でわかる! TOEIC テスト全パート最速攻略」(学研)を使用、その後解答と解説をして全10時間の講習を終えた。講習前半部が終わった時点でアンケート用紙を配り、自宅で書いたものを回収、最終日午後から約1時間半アンケートをもとに生徒の疑問、質問をOFF会と称して会を催した。

### 3. TOEIC リスニングパートと英検、GTEC、大学入試センター試験リスニングとの比較

TOEIC のリスニングは4つのパートに分かれていて写真描写問題が10問、応答問題が30問、会話問題が30問、ショートトーク問題が30問の計100問を45分間で、どのパートも流される英文は1度で、マークシートに解答する。英検2級リスニングテストは2部に分かれていて1部は会話の内容一致選択15問、第2部は文の内容一致選択15問、計30問を25分で、2部とも流される英文は1度でマークシートに解答する。GTEC は写真イラスト問題が7問、会話応答問題が10問、要点理解問題が10問の計27問を13分間で流される英文は1度で、オンライン形式で解答する。本校で活用されてきた GTEC for Students に関して、3つのタイプに分かれ、Core イラスト説明問題8問4分、対話応答問題8問4分、課題解決問題8問5分、要点理解問題8問5分、Basic はそれぞれ Core の問題に対し10問6分、10問5分、10問8分、10問6分となっている。Advanced は写真説明問題10問6分、会話応答問題10問5分、課題解決問題10問8分、要点理解問題10問6分を Core では計18分、Basic、Advanced では計25分で流される英文は1度で、マークシートに解答する。大学入試センター試験リスニングは6つの部分からなり第1問は対話文を聞き内容に合う絵を選ぶ問題が6問、第2問は対話を聞き適切な応答文を選ぶ問題が7問、第3問Aは短い対話に対する設問3問、第3問Bは長めの対話文を聞き図表を完成する問題3問、第4問Aは短い文

章を聞き質問に答える問題3問、第4問Bは長めの文章を聞き質問に答える問題3問、計25問を30分、全て流される英文は2度でマークシートに解答する。以上各試験の問題、時間配分、総時間数を記述したが、センター試験以外は放送される英文は1回でイラスト(写真)問題、対話(会話)問題、ショートトーク(文章)問題と大別される。英検2級以上ではイラストは出題されないが、3級で出題され級別に難易度が分かれているものと、そうでないもの(TOEIC, GTEC など)との区別で、出題されていることが理解できる。

#### 4. TOEIC リーディングパートと英検, GTEC, 大学入試センター試験英語筆記問題との比較

TOEIC のリーディングパートは3つのパートに分かれ、短文穴埋め問題40問、長文穴埋め問題12文、読解問題48問の計100問を75分で4肢選択の全てマークシート方式で解答する。英検2級の筆記問題は、語彙文法問題20問、作文力(語句整序)問題5問、長文読解問題20問、計45問を75分で4肢選択、但し作文(語句整序)問題においてはその番号選択となり全てマークシート方式で解答する。GTEC は語彙語法問題12問、速度要点理解問題7問、長文理解問題6問、計25問24分をオンライン形式で解答する。GTEC for Student の Core は語彙語法問題10問5分、情報検索、概要把握問題10問12分、要点理解問題8問15分、計28問32分、Basic はそれぞれ Core の問題に対し12問6分、12問14分、12問25分、計36問45分、Advanced はそれぞれ Core の問題に対し14問7分、14問14分、15問24分、計43問45分、全てマークシート方式で解答する。大学入試センター試験英語筆記問題は大きく6つに分類され第1問発音・アクセント7問、第2問文法・語法/対話文/語句整序19問、第3問意味類推/不要文指摘/意見要約8問、第4問図表問題7問、第5問陳述読解問題5問、第6問長文読解問題9問、全55問4肢選択を80分、マークシート方式で解答する。

以上が各試験の問題概略と制限時間であるが、大学入試センター試験は高校の学習内容が反映される問題で、他では取り扱われなくなったり、取り扱われない発音、アクセント問題が出題、それ以外では文法(語法)から対話文、長文読解に至る問題の難易度は別に、差ほどの形式上の相違を見ない。単純に全ての問題を時間内に全てを解答することを前提に、取り組む時

間を問題数で割ると、TOEIC が 0.75 秒、英検 2 級が 1.67 秒、GTEC が 0.96 秒、GTEC for Student は Basic が 1.14 秒、Core と Advanced が 1.05 秒、大学入試センターは 1.45 秒となる。ここで出題形式として大きな差となるのが、GTEC ではネット解答となる為、時間が余ったからと言って前の問題には戻って訂正し再解答が出来ない。実際には TOEIC でも問題数が多いので読み返して再解答をする時間の余裕はないが、ネットとの違いは基本的には再解答が可能である点にある。

## 5. 語彙分析

TOEIC の語彙は、いわゆるアカデミック（学術的）ではなく、日常的なものから寧ろ場面設定がビジネスやそれに纏わるものに特化したものになっている。その一方英検や GTEC、又大学センター入試では、文化、歴史、科学、哲学などの人文科学、とそれら人物を中心とした内容であるのとは対照的で、その様な内容のものは、リスニング、リーディング共に TOEIC では全くない。

TOEIC では過去の問題が出版されていないので、公式問題集から幾つかをピックアップすると Part3 の会話ではシカゴ行きの列車の切符を買う場面、劇場での忘れ物を関係者に尋ねている場面、書店である新刊書を尋ねている場面、会社のピクニック企画で男女が話す場面、ホテルの部屋のエアコンの故障でフロントと話す場面、など、Part4 では、市の芸術センター建設に関するニュース情報を流すレポート、広告でセールに関する店の宣伝、アマチュアの短編小説のコンテストを知らせる放送、ラジオの交通情報、などとなっている。Part6 では、照明会社から注文した商品の欠品に関する手紙文、フィットネスセンターからの会員更新に関する手紙文、社員研修に関するお知らせ、ある企業の部長から従業員への設備に関する変更のメモ、Part7 では、文具店店のウェブページに関するもの、繊維メーカー見本市のスケジュール表、サービス内容、営業時間などの広告、オンラインショップで商品の購入に関する E メール文、ある企業のプレスリリースに関する記事、あるコースの受講料に纏わる 2 つの E メールに関するもの、あるイベントとメモに関するものなどである。

平成 15 年第 1 回目の英検 2 級の問題の長文読解では、環境問題、あるイギリス人企業家による慈善事業への寄与、大学図書館が学生へ送る E メール文、人類の進化での左利き、右利きの特質、先進国アメリカの工業の変遷、

などであった。

例えば、TOEIC で出題されている語彙を他の試験と比較すると、一見日常的な語彙と思える vendor, railing, tag, pedestrian, gymnasium, stack, tow, pail などは大学入試問題を大量に集めてコーパス分析し、その頻出語彙 4500 をまとめた単語集には掲載されていない。ましてや、qualification, personnel, incentive, supervisor, refund, reimburse, brochure, inventory などはある意味、ビジネス関連語である為、頻出語彙でもなく学校教育の場でも学習することがない。

コーパス分析をされた投野氏によれば、イギリス人の英会話データの分析結果、トップ 100 語で英会話全体の 67% をカバーしているとのことで、TOEIC や会話分析のデータだけでなく全ての英語試験に共通して言えることは、7～8割は同じ語彙で残りの2～3割が何について話され、語られているかで語彙が異なってくるのだと言うことである。

## 6. まとめ

受講した生徒たちは、関心が高かっただけでなくモチベーションも高く、受講登録した41名中29名が全講習を出席、1名が9割、3名が8割、4名が6割、1名が4割、残り3名が全く出席しなかった。語彙の難しさ、つまり学習していない語彙が多くあった感想もあり高校3年生が受験するには多少のハードルの高さはある。又、試験形式もリスニングの Part2 (3択) を除く全てが4択問題であるが、その難易度は短時間で話されている内容、書かれている内容を理解し、解かなければならない点であるかも知れない。

今後生徒たちは、大学へ社会へ進路を取る中で、何も TOEIC だけではないが、一般的な英語運用能力の判断基準の1つとして活用されて行くことは間違いないと思う。その中で大学入学試験、センター試験、又英語検定試験も今まさにその変更の岐路にある。英語だけに関しても、年複数回受験を可能にするために、TEAP, IELTS, TOFLE (iBT) などの活用が増えてくる。これらは又、英語の4技能を全て判断できるものとなっている為、今後はこれまでの英語教育を変革してゆく為にも、これまで以上に利用されて行くことであると確信している。

<講習に使用した教材>

- ・ 早川幸治 (2012) 新 TOEIC テスト 書き込みドリル 【全パート入門編】  
桐原書店
- ・ 高橋基治 (2008) 「30 分模試」 でよくわかる！ TOEIC テスト全パート最速  
攻略 学研

<参考文献, ネット検索>

- ・ 日本英語検定協会  
[http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/grade\\_2/detail.html](http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/grade_2/detail.html)
- ・ GTEC ベネッセ  
<http://www.benesse.co.jp/gtec/test/sample.html>
- ・ GTEC for Students  
<http://gtec.for-students.jp/about/about.htm>
- ・ 大学入試センター  
[http://www.dnc.ac.jp/data/shiken\\_jouhou/h26/jisshikekka/honshiken\\_mondai.html](http://www.dnc.ac.jp/data/shiken_jouhou/h26/jisshikekka/honshiken_mondai.html)
- ・ TOEIC テスト新公式問題集 Vol.5 一般財団法人国際コミュニケーション協会
- ・ 投野由紀夫 (2015) コーパス 4500 東京書籍
- ・ 小石裕子 (2008) 新 TOEIC 英単語出るとこだけ アルク